

## 答

就任以来5つの基本政策を掲げ、各種施策に取り組んできた。具体的な取組としては、西消防署河北出張所が完成し、市内全域で均衡のとれた救急運用が可能となったほか、わくわく健康ポイント事業などにより市民の健康意識の向上を図っている。

また、アウトドアオアシス石鎚のオープンと株式会社ソラヤマいしづちの設立に合わせ、地域観光産業を創出する市の体制を確立したほか、移住者獲得の取組も積極的に実施し、昨年度の移住者は前年比で約3倍の289人となっている。

更に、低負担・高福祉から中負担・中福祉への展開を図り、事業や使用料などの見直しを行っている。

任期最終年を迎え、特に、全国に先駆けて取り組んできた内発型産業イノベーション、移住促進、関係人口創出などの強みを持続可能なものにし、市民のチャレンジ精神を喚起させ、企業の稼ぐ力とイノベーションを起こすしくみが充実した、チャレンジしやすいまちづくりを進めていきたい。

## 井上 浩 二議員



### 1 一般質問 上下水道施設の浸水対策について

#### 守れ！ライフライン！ 上下水道施設の浸水対策を

## 問

近年、風水害が多発していることから、国は国土強靱化基本計画を策定し各種施策に取り組んでおり、本市も国の計画に基づき、国土強靱化地域計画を策定中である。こうした中、市民にとって重要な上下水道施設の浸水対策は、どこに重点を置いて取り組むのか。

## 答

現在策定中の国土強靱化地域計画では、上水道施設について、大規模災害による長期断水を防ぐため、耐震化に加え土砂・浸水災害対策や停電対策などを推進す

る必要性があると考えている。具体的には、電気設備などの浸水を防ぐ止水壁の設置や施設のかさ上げが必要となるが、多額の費用が必要となるため、早急な整備は難しい。よって、今後、上下水道施設の設備を更新する際は、電気ケーブルなどの防水化を重点的に実施していきたい。

一方、下水道施設は、計画的な設備の耐震化などを行うとともに、大雨時の内水排除や防災体制の整備の必要性を計画に示すこととしており、平成30年度から交付金を活用して三津屋雨水ポンプ場を重点的に整備している。また、施設の耐震実施計画の策定にも取り組んでおり、今後、津波対策を含めた耐水化を検討していきたい。



重点的に整備している三津屋雨水ポンプ場

## 今井 廣 一議員



### 1 一般質問 判断能力が低下した高齢者に対する成年後見人制度の活用について

#### 成年後見制度 高齢者への支援体制は？

## 問

近親者がいない高齢者が増加する中、認知症などにより判断能力がふじゅうぶんなかたについては、家庭裁判所によって選任された成年後見人が本人に代わって財産管理などを行う成年後見制度がある。不安な場合は必要に応じ本制度を利用し、財産や権利を守ってもらいたいと思うが、制度の活用に至っていない高齢者への周知や支援をどのように考えているか。

## 答

認知症に関し必要なサービスが切れ目なく利

用できるように作成した「認知症安心ガイドブック」に成年後見制度の内容を掲載し、市の関係部署、医療機関、居宅介護支援事業所、グループホーム、在宅介護支援センターなどに同冊子を配付するとともに、市のホームページへ掲載し、情報提供を行うほか、介護支援専門員連絡会においても成年後見制度の研修会を実施し、制度の周知に努めてきた。

今後は、地域で高齢者と接する機会が多い民生委員などとも協力し、引き続き、成年後見制度を必要としている人が利用しやすく、気軽に相談できる体制づくりに取り組んでいきたい。

